

氏名(本籍)	伊津美孝子(山口県)
学位の種類	修士(看護学)
学位記番号	修士第86号
学位授与年月日	平成19年3月26日
学位論文題目	プリセプターシップにおける看護師長の役割行動に関する実証的研究

論文内容要旨

※整理番号	88	(ふりがな) 氏名	いづみ たかこ 伊津美 孝子
修士論文題目	プリセプターシップにおける看護師長の役割行動に関する実証的研究		
<p>新卒看護師の早期離職が問題になるなかで、プリセプターシップのあり方が問われている。一方で、臨床の第一線で働く看護師長の管理能力への期待は大きく、人材育成の要である看護師長が、組織や看護部の理念を受けて、看護師長自身がどこに価値をおき、どのような人材を育成したいのか、初期キャリアとしての新卒看護師をどのように育成したいのか等、プリセプターシップの実態と看護師長の初期キャリアの育成ビジョンとの関連について探求することは、人的資源管理の視点から極めて重要である。</p> <p>本研究の目的は、プリセプターシップに関わる制度の理解促進を図り、効果的な新卒看護師教育の実現に貢献するために、プリセプターシップにおける看護師長の役割行動の実態を明らかにすることである。全国の特設機能病院 81 施設のうち、プリセプターシップを導入している施設の看護師を対象とし、研究協力の同意が得られた 24 施設から看護師 840 名を対象に質問紙調査を行い、分析の結果、以下の知見を得た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプターシップにおける看護師長の役割行動は、「対象者へのフィードバック機能」「システムへのフィードバック機能」「調整機能」「説明機能」の 4 因子で構成されていた。「対象者へのフィードバック機能」「システムへのフィードバック機能」が、看護師長の役割行動として上位機能であることが示された。 2. 「プリセプターシップにおける看護師長の役割行動に関する評価は、プリセプター、プリセプティによる他者評価より低く、現行のプリセプターシップは、管理職不在のプリセプターシップになっている」という仮説 1 については、看護師長、プリセプター、プリセプティの 3 群共高い評価結果を示し、仮説は棄却され、1) 看護師長とプリセプター間においても、プリセプター低い評価結果を示した。2) プリセプターとプリセプティの間でも、プリセプターが低い評価結果を示した。3) 看護師長とプリセプティの間では有意な差は示されなかった。これは、プリセプターに重圧と負担が集中していることを、示していると考えられた。プリセプターシップにおける直属上司としての看護師長の存在は明らかにされた。 3. 「プリセプターシップにおける看護部の理念と組織単位の理念は一致している」という仮説 2 について、プリセプターシップの概念の捉え方については、設置主体看護部門の長と、看護単位の長である看護師長の双方共に曖昧性が確認され、仮説は棄却された。 <p>本研究によって、看護部の理念と組織単位の理念の不一致が、プリセプターシップの効果的な運用を阻害する本質的な問題であることを明らかにすることができた。本来、看護師長が立案した組織単位の方針や目標は、当然、看護部最高責任者の方針に沿ったものではないし、また看護部最高責任者の方針は、設置主体の経営方針にマッチしていなければならない。また、乖離が起きている現状の背景に、教育担当部門がどのように関与していたかについては明らかにしていないため、今後の課題にしたい。</p>			

(備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)